

# 量子技術等の最先端技術を用いた海中（非 GPS 環境）における高精度航法技術 量子技術等の最先端技術を用いた海中における革新的センシング技術

【最大95億円程度】

※高精度航法技術はステージートを経て追加措置可能

- 海洋環境保全、海洋由来の自然災害への対応、総合的な海洋の安全保障の確保等のため、**海洋状況把握や海洋における活動能力の強化が重要**。
- このような能力の強化にあたっては、様々な海洋状況を高精度・高効率・広範囲に観測・調査・モニタリング可能とする**技術の確立が欠かせない**。
- そのため、本構想では、量子技術等の最先端技術を海中の航行や海洋環境観測に適用することにより、**これまでにない①高精度航法技術や②海中における革新的センシング技術を確立**する。

## 1 高精度航法技術

- GPS等の全球測位衛星システム(GNSS)の電波が届かない海中においても、自らの位置、速度、姿勢を高精度に把握し、長期間の活動を可能にするため、世界最高の精度を有する慣性航法装置のプロトタイプの開発・実証を目指す。

## 2 革新的センシング技術

- これまで観測手段に乏しかった海中・海底の磁場等を高精度に観測するためのセンシング技術を開発し、これと様々な既存のセンサーや観測システムと組み合わせることで、海洋状況把握に資する基盤技術を確立する。



支援対象となる技術

- ▶ 量子技術等の最先端技術を用いた海中（非GPS 環境）における高精度航法技術
- ▶ 量子技術等の最先端技術を用いた海中における革新的センシング技術